



企画展講座

「幕末の五卿・志士と筑紫野」

歴史博物館では「明治維新と宿場町展」を開催中です。宿場に残る古文書の中から維新前後の史料を厳選し、崩し字になじみの薄い現代人にも読みやすいように「読み下し」を付けていますが、展示の内容をさらによく理解していただくため、講座を開催します。

筑紫野は維新の策源地！

慶応元（1865）年2月、長州の功山寺から太宰府の延寿王院へと勤王派の5人の公家（五卿）が移転しました。この5人をめぐって、警護に当たる薩摩藩・筑前勤王派の志士と、

幕府から派遣された一団とが二日市を舞台に対峙（たいじ）したため、筑紫野一帯は騒然（そうぜん）となっていました。

本講座では、市内の五卿ゆかりの場所や史跡、旧家を紹介しながら、維新回天の十字路・筑紫野の当時を振り返ります。



湯町に建つ五卿の一人・三条実美の歌碑。

「ゆのはらに あそぶあしたづ こととはむなれこそしらめ ちよのいにしへ」と王朝時代への思いが歌われています

● 講師 竹川 克幸さん（日本経済大学教授）

● 日時 10月6日（土）、13時30分（15時30分（13時受付開始））

● 場所 歴史博物館2階研修室

● 定員 先着70人

● 申込方法 電話、または博物館受付にて

● 申込開始 9月21日（金）、9時

● 申し込み・問い合わせ先 歴史博物館 ☎（922）1911

消費生活センターだより



消費生活センター相談専用電話

(923) 1741

平日

● 9時～11時45分
● 13時～16時30分

地域と消費生活センターをつなぐ

消費生活サポーターを募集します！



悪質商法や振り込め詐欺などの被害は、なかなか少くなりません。特に高齢者や障がい者はだまされていることに気づきにくい、相談窓口が分からないなどの理由で、被害が表面に現れにくいのが現状です。

一人ひとりが「あれ、おかしいな」「大丈夫かな」と早く気づき、適切な相談窓口につなぐことで、悪質な消費者被害を防ぐこと、被害を回復することにつながります。

地域の中でそのような「気づき」を「つなげる」という役割を担う「消費生活サポーター」を募集します。

消費生活サポーター養成講座

● 日時 10月25日（木）、13時～16時

● 会場 生涯学習センター3階学習室5

● 内容 ▽基本的な契約について

▽最新のトラブル情報

▽消費者被害についての気づきや声掛けのポイント など

※受講した人には定期的に消費者トラブルに関する最新の情報をお届けします。

あなたの「見守り」や「気づき」が消費者被害防止につながります！ぜひご参加ください。